

景観 こぼれ話

広がる和歌山の眺望

～眺望を堪能するハイキングに出かけませんか～

北部の山地からは、和歌山の市街地や大阪方面への爽やかな眺望が得られ、これを楽しむハイキングルートがあります。代表的なルートは、JR 阪和線の六十谷駅から、役行者堂、青少年の森展望広場、雲山峰、第1パノラマ台を経て、JR 阪和線の山中溪駅へと至るルートです。

スタートしてからしばらくは、のどかな農村の風景を楽しむことができます。途中急な坂道もありますが、青少年の森展望広場からは和歌山平野や紀の川への眺望が開け、第1パノラマ台からは大阪湾、関西国際空港を一望できます。

これらの眺望や景色は、地域の児童が一度は遠足で訪れることから、市民の思い出に残る景色といえます。



岩神観音からの大パノラマ

わかやマルシェ

～新たな魅力が生まれつつあります～

「マルシェ」というイベントはご存知ですか？そもそも「市場」という意味をもつフランス語ですが、最近では、地域の新鮮で美味しい食材を気軽に提供するイベントとして広がってきています。

北部地域でも、平成25年5月26日と11月17日に「わかやマルシェ」が開催されました。会場となった「ノーリツ鋼機」さんでは、水耕栽培で野菜が生産され、全国に出荷されているそうです。この日は多くの人々が訪れ、地元和歌山の食材を通じて、生産者との交流を楽しんでいました。

このようなイベントが北部地域の新たな魅力となって、さらに広がっていけば良いですね。



和歌山産の食材を楽しむイベント
「わかやマルシェ」の様子

問い合わせ先

和歌山市 産業まちづくり局 都市計画部 都市再生課

〒640-8511 和歌山市七番丁 23 番地 Tel(直通): 073-435-1048

わかやまし 景観ガイド

魅力
満載！



上：岩神観音から市街地への眺望 下：「わかやマルシェ」の様子

北部地域の景観

北部地域は、背後に和泉山脈、前面には紀の川の雄大な川の流れを目にすることができるエリアです。

旧集落を基にした住宅地もありますが、山地の斜面には戸建住宅地もつくられ、地域の内外から新たな住民を受け入れました。

地域の北西には和歌山大学があります。まわりには大規模住宅地や大規模商業施設が立地し、新駅もできるなど、「新しいまち」ができあがってきました。

また、地域を東西に走る粉河加太線は、近年道路の拡幅整備が進んでおり、それに伴ってお店などの集積が進むなど、まちなみは時間とともに変化し、にぎわいの景観が形成されつつあります。



魅力マップ

～北部～

木本八幡神社

八幡宮としては有数の古さを誇り、社殿は桃山時代の様式で、建築された当初の部材が今も残っているところがあります。一部、県指定の文化財となっています。



秋祭りで奉納される獅子舞は、全国でも珍しい梯子獅子で、500年の間受け継がれてきたものです。

学園城郭都市・ふじと台

国道26号から少し脇に入り、和歌山大学につながる道路沿いに「ここは和歌山？」と見紛うような住宅地があらわれます。



イタリアやドイツを手本にした、色彩豊かな住宅地で、異国の地を連想させます。市内でも人気の住宅地のひとつとなっています。

和歌山大学

和歌山市から大阪に抜ける孝子峠の手前の小高い丘陵部に、和歌山大学があります。キャンパス内は豊かな緑に囲まれ、閑静な雰囲気の中で多くの学生が学業に勤しんでいます。



平井城跡

戦国最強の鉄砲集団として名高い雑賀衆を率いた、雑賀孫市の居城があったとされています。石山合戦では雑賀衆を率いて、かの有名な織田信長の軍勢を苦しめたことで知られています。



高台にあるため、市内への眺望を楽しむことができます。また隣接して、市内唯一の乗馬クラブもあります。

和歌山北インターチェンジ (IC) 周辺

地域活性化インターチェンジとして整備された、大阪方面へのハーフインターチェンジです。



周辺には農地が広がっていましたが、インターチェンジの整備がきっかけとなり、物流施設や商業施設等が進み、新たな拠点となりつつあります。



紀の川大堰

周辺地域の安定的な水供給や治水のため建設された堰です。



「空と水の出会う堰」をコンセプトとして、周辺景観との調和に配慮しながらデザインされており、膨大な水量をせき止める様子は圧巻です。

紀ノ川橋梁(南海本線)

明治36年に竣工され、私鉄の現役トラス橋としては最古の橋です。日本の橋100選に選ばれました。



コラム 移りゆく沿道のまちなみ ～粉河加太線沿道～

粉河加太線は北部地域の東西をつなぐ重要な道路です。かつては畿内から淡路島を経て四国に至る、南海道の一部でもありました。

つい最近まで、昔の面影を残すまちなみや神社が点在していました。近年、片側1車線の道路が2車線になり、歩道も整備されるなど道路整備が進むにつれ、道路沿いにはお店などが集まり、ずいぶん様変わりしてきました。

便利になるのはうれしい反面、昔を知る人はちょっと寂しい思いもあるかもしれません。地域に育つ子どもたちの「原風景」になるように、景観づくりをしていきたいですね。

コラム 「新しい」景観 ～和歌山大学とふじと台周辺～

緑がいっぱいで整った建物のある和歌山大学の、北どなりにあるのが「ふじと台」です。モニュメントがあるなど洋風の装いが目を引く一方で、住み心地のよい住宅地の環境をつくるため、道路沿いの景観はまとまりをもつように設計されています。

すぐ近くに和歌山大学前駅や大型のショッピングモールも完成したため、人の動きも大きく変わり、「にぎわい」という新たな要素が景観に加わることでしょう。

